



# 図書館だより

## 2月号

令和6年2月21日  
横浜市立山田小学校  
図書担当：斎藤裕美  
学校司書：村山浩子

★毎月23日は市民読書の日です★図書館だよりはおうちのひとといっしょに読みましょう。

今年の図書館は**2月29日木曜日で閉館！**  
かし出しは**22日木曜日(明日)までです。**

今年は2年に一度の蔵書点検（ぞうしょてんけん：全部の本があるかどうか確認すること）の年にあたります。そのため、図書館にくるのを楽しみにしている人にはもうしわけないのですが、2月いっぱい図書館をしめて、点検することになりました。

2月22日がかし出し最後の日、そしてかえす日は29日です。そのあいだ、図書館の中で本を読むことはできますので自分の好きな本を楽しんで読んでください。  
なお学級文庫や授業で使う本は先生と相談して、3月になっても教室では使えるようにする予定です。



### おしらせ

図書館だよりは3月にもう一度発行の予定ですが、ここでおしらせです。  
今年も読書記録カードを（低学年には全員、ほかは希望者に）くばりました。  
がんばって50冊以上読んだ人にはミニ賞状をいたします。3月になったら先生のせつめいがありますのでカードをだしてください。また、今年たくさんかりた上位数人には「図書館王」の賞状もてる予定です。おたのしみに。来年もたくさん本をかりて読んでください。

### 図書館利用状況 1月22日～2月20日（20日間）

来館者（休み時間）551人 貸し出し数（授業中含む）532冊【1日平均25人/26冊】

### 今月のおすすめ本



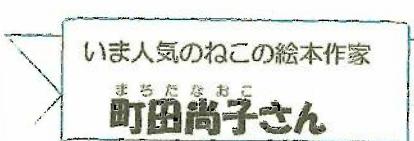
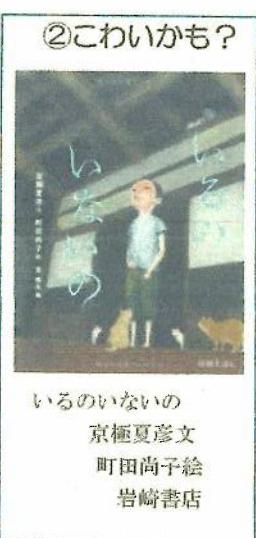
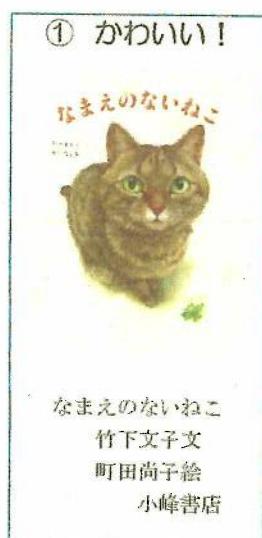
「岩合光昭の日本ねこさがし」 岩合光昭：写真 クレヴィス発行

岩合光昭さんは写真家。とくにネコの写真が有名で、今のネコブームよりもずっと前からネコをとりつづけています。ただ、かわいいネコを写すだけではなく、土地のようすやそこに住んでいる人たちの生き方までえがくような写真が多くみられます。この写真集も日本の山里や海辺のふつうの暮らしの中のネコを「どこにいるのかな？」とさがしてみるのがたのしいです。

図書館でも人気のある一冊。もしもみる機会があったら、ぜひ、なかなか見つけられない「かくれネコ」のページにちょうせんしてみてください。

# とつせんですが…2月22日は「ねこの日」なのでしらべたら 図書館にはネコの本がいっぱいありました！

今は「ねこブーム」とか。記録によれば1000年前の平安時代、300年前の江戸時代にもねこブームはあったそうです。山田小でも「ねこの日」にちなんで特集コーナーのテーマにするため、パソコンでさがしたら、びっくりするほど見つかりました。今回はたくさんの中から、おすすめの「ねこの絵本」の作者を紹介します。



① の「なまえのないねこ」はおもわず絵をなでてしまいたくなるかわいさ。のらねこはさいごに名前を手に入れた時、名前といっしょに一番ほしかったものを手に入れます。心があたたかくなるお話でした。

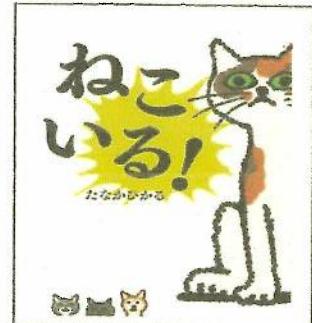
② は大人気の怪談絵本「いるのいないの」…こわいです！

いなかのおばあちゃんの古い家に飼われているたくさんのねこ。ねこが何かをするわけではありませんが、ドキドキしながら読むと、かわいいはずのねこまでがだんだんこわくみえてくるのがふしがです。

③ 「どすこいみいちゃんパンやさん」はいちばん新しい絵本です。なんでおすもう？と思いつながらもねこのすがたがかわいくて、パンをつくるしぐさが「ねこ」らしくて、にこにこながめてしまいました。

ほかにも「ネコヅメのよる」「ねことねこ」「ねこはるすばん」など町田さんの本は人気本が多数そろっています。もし、見かけたら手にとってみてください。

この本にも注目！ただただおかしい「ねこいる！」



作者のたなかひかるさんはおひらけいん芸人でもあります。「頭がよくはならない絵本」と作者本人が言い切る本ですが、あちこちに「ねこがいる」だけの本なのに、どうしてこんなにクスクス笑えるのでしょうか？

さいごまで読んだあと、きっと「あれ～？」とページをはじめから見直しますよ。

あたらしい本でなくても

感動する「100万回生きたねこ」（佐野洋子 講談社）ほほえましい「11ぴきのねこ」（鳥場のぼる こぐま社）などたくさんの本をコーナーにてくじらう展示中です。年度さいごの1週間。休み時間にねこの本でほっこりるのはいかがでしょうか。

\*この図書館により紹介した本の表紙はすべて著作権の確認を行なうか、出版社の許可をいただいたものです。